

日本膜学会講演会～ゼオライト膜開発の最新研究から実用化、普及に向けて～

主催：日本膜学会

協賛：(予定) 化学工学会、化学工学会分離プロセス部会、化学工学会関西支部、高分子学会、触媒学会、日本ゼオライト学会、先端膜工学研究推進機構、日本化学会、日本化学連合、分離技術会

開催日時：2025年5月12日(月) 13:00～17:20

開催形式：ハイブリッド【会場での対面方式(定員100名)およびWeb方式(Zoom)】

対面会場：早稲田大学リサーチイノベーションセンター(121号館)B1F コマツホール
(東京都新宿区早稲田鶴巻町513)

企画趣旨：本講演会は、我が国が技術シーズの創成からその実用化まで終始世界をリードしてきたゼオライト膜の最新動向について、当学会が刊行する学会誌「膜」の特集号(2025年3月発行予定)とリンクさせる形で開催し、会員・読者の皆様に理解を深めていただくとともに、膜技術の開発・利用に携わる研究者・技術者の情報交流を図る事を目的として開催する。

プログラム：

- 13:00-13:05 開会挨拶 日本膜学会会長 東京科学大学 教授 山口 猛央 氏
- 13:05-13:50 【基調講演①】ゼオライト膜の現状と展望
山口大学 名誉教授 喜多 英敏 氏
- 13:50-14:20 ゼオライトを利用したPV膜とパイロット試験(案)
日東電工株式会社 西山 真哉 氏
- 14:20-14:50 MFI膜による二酸化炭素のオレフィン化反応
芝浦工業大学 教授 野村 幹弘 氏
- 14:50-15:20 ゼオライト膜を利用した膜型反応器のプロセスモデリング
(国研)産業技術総合研究所 研究員 LUNDIN SEAN-THOMAS 氏
- 15:20-15:30 (休憩・時間調整)
- 15:30-16:15 【基調講演②】カーボンニュートラルへ向けてのゼオライト膜の貢献可能性
三菱ケミカル株式会社 フェロー 武脇 隆彦 氏
- 16:15-16:45 省エネ・脱炭素に資するゼオライト膜分離システム
カナデビア株式会社(旧:日立造船株式会社) 来田 康司 氏
- 16:45-17:15 骨格中の Al およびカチオン位置制御によるゼオライト膜の透過分離性能の向上
早稲田大学 講師 酒井 求 氏
- 17:15-17:20 閉会挨拶 日本膜学会理事 早稲田大学 教授 松方 正彦 氏

参加費：(消費税込)

主催団体：個人会員および法人会員の社員 11,000 円

協賛団体：個人会員 11,000 円

学生: 3,300 円,

会員外: 22,000 円

要旨集の販売: 会誌「膜」50 巻 2 号特集号 (2025 年 3 月下旬発行予定) 2,938 円 (税込)

* お振込み完了後の返金は受け付けておりません。

募集人員: 本シンポジウムは会場での対面方式および Web 方式を併用して行います。

お申込みの際は対面方式または Web 方式のいずれかを選択してお申込みください。

会場での対面方式 (定員 100 名) (予定)

定員に達し次第、募集を締め切りますので、早めのお申し込みをお願いいたします。

Web 方式 (Zoom) 定員はございません。

申し込み・支払い締切日: 5 月 10 日 (金) 17:00 (コンビニ/ATM での支払いは 5/9 締切)

支払締切日までに参加費が未納の場合、参加登録は無効になります。

下記サイトよりお申し込みください。

<https://maku2025seminar.peatix.com/>

- Web 方式の参加申込をされた方には、5 月 10 日頃に E-mail にて Zoom の接続情報等を送付します。

当日受付: 5 月 10 日以降は、対面会場でのみ参加受付可能です。参加費はそれぞれ 3,000 円 (税別) アップになります。

問合せ先:

一般社団法人日本膜学会 事務局 (e-mail: membrane(at)mua.biglobe.ne.jp)

以上